

事業報告書

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当期の事業報告書をお届けいたします。

1. 当期の経営成績・財政状態の概況

当連結会計年度(2019年4月1日~2020年3月31日)の世界経済は、全般的に成長は鈍化し続け、各所で調整が見られていた中で、今年に入りコロナ禍と言われる事態に直面しました。当該年度においては、コロナ禍が当社事業全般に及ぼす影響は限定的でした。このような状況のもと、当社グループは、継続的な業績伸長のため、予断をもってあたることなく、常に変化に迅速に対応してまいりました。また、顧客との関係を深耕し、かつ顧客層を拡張するとともに、顧客に密着した製品開発、品質の向上と技術における差別化を推し進めました。加えて、的確な納期対応と厳格なコスト管理を継続し、顧客と市場の需要に応えるための投資を適宜に行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、次の通りとなりました。

1 | 連結経営成績

※億円未満切捨て

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
2020年 3月期	15,435	△3.2	4,060	0.6	4,182	0.7	3,140	1.6	755.17
2019年 3月期	15,940	10.6	4,037	19.9	4,153	22.0	3,091	16.1	725.99

(注)包括利益 2020年3月期 2,868億円(2.5%) 2019年3月期 2,799億円(1.7%)

2 | 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	億円	億円	%	円 銭
2020年3月期	32,304	27,231	82.1	6,377.93
2019年3月期	30,387	25,325	81.1	5,915.47

(参考)自己資本 2020年3月期 26,523億円 2019年3月期 24,655億円

3 セグメント別の概況

▶塩ビ・化成品事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	5,242	4,843	△7.6
営業利益	1,065	921	△13.5

塩ビ・化成品は、米国のシンテック社において、塩化ビニル、か性ソーダともに高水準の出荷を継続しましたが、市況の影響を受けました。欧州拠点も販売数量の維持に努めたものの、市況の影響を受けました。国内拠点は堅調に推移しました。

▶シリコン事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	2,333	2,268	△2.8
営業利益	585	614	5.0

シリコンは、機能製品を中心に拡販を進めましたが、汎用製品の価格下落の影響を受けました。

▶機能性化学品事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	1,211	1,147	△5.2
営業利益	266	277	4.2

セルロース誘導体は、医薬用製品は底堅く推移しましたが、建材用製品が振るいませんでした。フェロモン製品は堅調な出荷となりましたが、ポバール製品は市況の影響を受けました。

▶半導体シリコン事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	3,803	3,876	1.9
営業利益	1,319	1,432	8.6

半導体シリコンは、半導体デバイス市場での調整局面が続きましたが、販売価格と出荷水準の維持に努めました。

▶ 電子・機能材料事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	2,260	2,251	△ 0.4
営業利益	669	685	2.3

希土類磁石は、産業機器向けが需要鈍化の影響を受けましたが、環境対応自動車向けを中心に販売を維持しました。フォトレジスト製品は、ArFレジストやEUVレジストを中心に総じて好調でした。マスクブランクも堅調に推移しました。光ファイバー用プリフォームは市況悪化の影響を受けて厳しい状況となりましたが、大型パネル用フォトマスク基板は好調に推移しました。

▶ 加工・商事・技術サービス事業

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減率
	億円	億円	%
売上高	1,087	1,047	△ 3.7
営業利益	132	148	11.5

信越ポリマー社の半導体ウエハー関連容器が、半導体デバイス市場関連投資の減速の影響を受けました。

2. 今後の見通し

コロナ禍がいつどのように終息するか、世界経済への毀損がどのくらいになるのか、現時点では見通せません。このような状況下、従業員の健康と安全の維持、生産の継続と販売の確保、債権保全ほかの事業要件に注力します。顧客との意思疎通を密にして、顧客にとって価値ある製品の開発と製品の安定供給に引き続き努めてまいります。コスト競争力と品質の向上への取り組みも継続してまいります。決定した投資案件は目下計画に沿って実行しています。また、事業の成長のために適時適切な投資を遂行してまいります。

現時点で今後1年間の業績予想を合理的に行うことは困難であるため、連結業績予想は未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

なお、当社は2020年3月期末において現預金及び譲渡性預金を含む有価証券を合計1兆878億円保有しており、流動性を十分に確保しております。

3. 配当金に関する説明

当期の期末配当金は、先に行いました中間配当金と同額の、1株につき110円と決定いたしました。これにより、当期の年間配当金は前期の200円に対して20円増の1株当たり220円となります。

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	110.00	110.00	220.00
2019年3月期	100.00	100.00	200.00

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当受領株主確定日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.shinetsu.co.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関 (連絡先) (郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

上記以外の住所変更、配当金の受領方法の指定・変更等のお手続き、ご照会などは口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取・買増請求
- 住所、氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定
- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

■ 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま お取引の証券会社までお問い合わせください。

- 証券会社とのお取引がない株主さま 三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。
電話 0120-232-711 (通話料無料)